



美術館北通り診療所

〒760-0029 香川県高松市丸亀町13-3 高松丸亀町商店街参番街東館4F ☎087-813-2220



瀬尾憲正院長

商店街の診療所

商店街が運営し、歩いて通院できる。
予防から緩和ケアまで広くカバー。

取材・構成 恵原真知子

診療所は、地権者の一部が作る共同出資会社が、商店街にあるビルの四、五階を購入し、内装等を整備した。総面積約三百二十坪、高級ホテルのようなインテ

リな施設を計画に組み入れ、十月にオープンした。

高松丸亀町商店街振興組合（古川康造理事長）は、郊外や他地域から居住者呼び戻そうと大規模な市街地再開発に着手。マンション建設などを進めるなか、地域医療の拠点にしようと

「美術館北通り診療所」開設を計画に組み入れ、十月にオープンした。

「一日通行量約九万人という四国最多を誇る高松市の中央商店街として例外ではない。そのアーケード総延長約二・七キロ（日本一）の下に約千の小売店や飲食店が軒を連ね、中核的な丸亀町商店街にはブランド店など高級品を扱う店も多いが、やはり空洞化は避けがたく進行している。」

「各地で、中心市街地から郊外に移り住む人が増えるのに伴って、中心部は居住者が減る空洞化や、シャッター商店街問題が起きてい

る。

「高齢者にとっては「車を使わず歩いて暮らせる街」

「リ。これを医師に貸す形で運営される。Uターン先発組の一人として、院長の白羽の矢が立った瀬尾憲正医師（今夏まで自治医科大学麻酔科教授）を訪ねた。」

「利用者（患者）」

「訪問看護、訪問介護、訪問リハビリ、訪問診療、訪問服薬指導、訪問歯科診療、訪問鍼灸、訪問緩和ケア、訪問救急」

「商業施設、グループホーム、特別養老ホーム、高齢者向け賃貸住宅、フィットネスクラブ、温泉・スパ施設、健康食レストラン、薬局・健康ショップ」

「福祉事務所、保健所、住宅改良」

「丸亀町ヘルスケアネットワーク構想図」

「この診療所はどこが新しいのか。それは、病院内で終始していた医療から、隣接する病院や診療所をはじめ介護・福祉関連施設、健康増進に関わる街の施設等との連携も視野に入れ、予防から通院、在宅医療を切れ目なくつなぐ「丸亀町ヘルスケアネットワーク」（上図）づくりを進めている点だ。」

「また、お薬手帳のように、患者の症状やそれに対する治療履歴を記録する「いのちの手帳」を配布している。今は紙製の冊子だが、いずれはカード一枚でいつでもどこでも記録を引き出せるIT化を目指すとのこと。」

「自治医大は僻地医療の担い手育成を使命とし、私も日常診療と後進を育てることで役割を果たしてきました。一方で僻地化した市街地の医療再生に尽力することでもまた私の使命という結論に達し、帰りたい高松へ、と定年間の退職を決めました」

「商店街運営のよきは、一医師の開業と違って医師が孤軍奮闘しなくてもすむことだ。また、商店街を行き来するような暮らしは、昨今話題の無縁社会とは逆である。子どもにも、子育て中の親にも心強いコミュニティになる。想像以上に様々な可能性も秘めているようだ。」

「代がポチポチ介護される側に回り、シングルの高齢者も増え、ベッド数不足の病院は入院も難しくなる。否が応でも在宅医療を充実させなければ、医療難民の群れができてしまう。全国津々浦々まで待ったなしの対応に迫られている。」

「医師や患者を孤立させない」

「歩いて暮らせる街」

「安心して医療を提供し

「安心安全な医療を提供し

「安心して医療を提供し

「安心して医療を提供し

「安心して医療を提供し

「安心して医療を提供し

「安心して医療を提供し